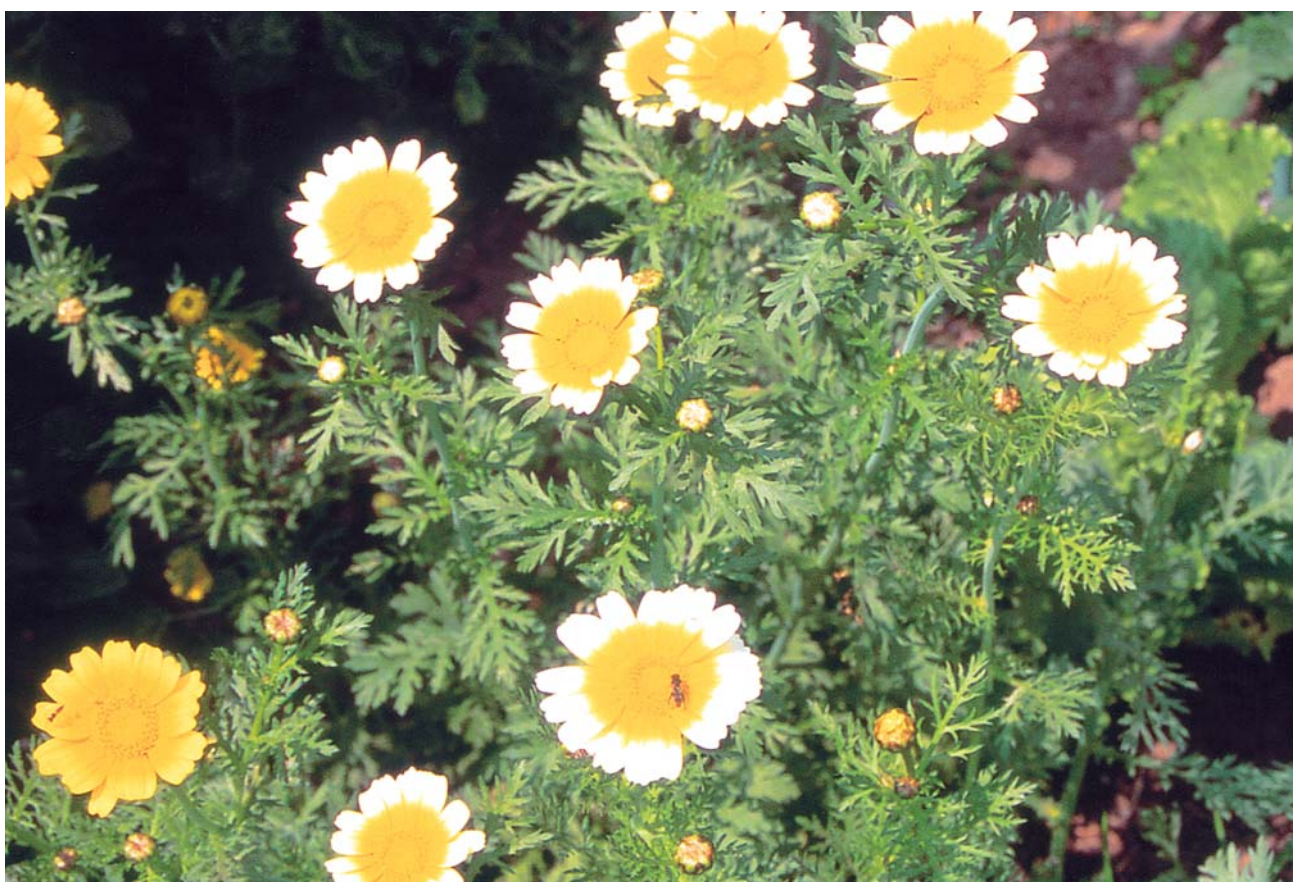


めでいかすとり
Médicastre



「 春 菊 」

鶴岡地区医療学術懇話会抄録

期 日：平成22年 5 月20日(木)
場 所：東京第一ホテル鶴岡

『 骨粗鬆症の脊柱変形による障害 』

秋田大学大学院医学系研究科
医学専攻機能展開医学系整形外科学講座

宮 腰 尚 久 先生

重度の骨粗鬆症は、骨折に伴うさまざまな障害を引き起こすが、なかでも最多となる脊椎椎体骨折は、治癒した後も多様な脊柱変形を生じることで、永続的な腰背部痛の原因となる。骨粗鬆症による脊柱変形は、円背、凹円背、全後弯、亀背に大別され、いかなる脊柱変形が生じてもQOLは低下するが、なかでも全後弯でその低下が著しい。脊柱を胸椎部と腰椎部に分けた場合、胸椎後弯よりも腰椎後弯のほうがより重要であり、胸椎後弯よりも腰椎後弯が増強した場合にQOLが低下しやすい。さらに、腰椎後弯の増強は、重心の前方移動に伴うバランス障害を生じやすいため、転倒の危険を増加させ、また、胃食道逆流症などの上部消化器症状も来しやすい。

一方で、同じ程度の脊柱変形が生じていても、個々の患者のQOLには、ある程度の差があることも経験するが、その要因には、脊柱可動性や背筋力の影響が挙げられる。われわれの検討では、骨粗鬆症患者では、1) 脊柱の可動性とQOLは有意な正の相関を示すこと、2) 脊柱可動性に影響を及ぼすさまざまな因子のなかで、背筋力が最も重要であること、3) 脊柱可動性を胸椎部と腰椎部にわけた場合、胸椎可動性よりも腰椎可動性がQOLに与える影響が大きいこと、が明らかになっている。

椎体骨折や、その結果として生じる脊柱変形は、形態の変化であるため、不可逆的な静的因子であるといえる。一方、脊柱可動性は、背筋力と密接な関係を持つ動的な因子であるため、リハビリテーションなどによって維持・向上できると考えられる。背筋力を維持し、腰椎後弯を予防し、脊柱の可動性（特に腰椎可動性）を維持することにより、骨粗鬆症患者のQOLを維持・向上させ得る可能性がある。しかし、脊柱変形が不撓性となり、柔軟性が全く失われてしまった場合には、脊椎矯正固定術などを考慮する必要がある。

期 日：平成22年 5月28日(金)
場 所：グランド エル・サン



第92回 定時総会・観桜会

木々の鮮やかな緑が目まぶしいこの季節、一日の仕事を終え、多くの先生方にお集まり頂き定時総会と観桜会が開催されました。

定時総会は、今年3月お亡くなりになった佐藤擴先生へ黙祷を捧げ、新議長の三浦二三夫先生の議事進行で始められました。会務報告・決算と滞りなく承認され、21年度の事業が無事完了し安堵いたしました。続いて「平日夜間診療体制」について中目会長が説明され協議に入りました。先生方の地域医療を思う熱い議論が繰り広げられ、其々のお立場での忌憚のない意見が続出し、2時間を超える総会となりました。

観桜会は会場を移して行われました。三原副会長の司会で、中目千之会長のご挨拶のあと、来賓として荘内病院の新院長三科武先生から「荘内病院が良い病院となり、鶴岡、庄内地域の医療を充実させたいとの思いが日々増してきている」と、大変頼もしいご挨拶を頂きました。続いて、酒田地区医師会長の本間清和先生からは、中目会長と一緒に作った詩がご披露されました。美しいお軸、又は曲となってお披露目される日を、楽しみにしたいと思います。新規開業の原田和佳先生、入会の工藤勝秀先生のご紹介あと、いよいよ三浦二三夫先生のご発声により乾杯し、頭・心・お腹ともに充実した会となりました。

管理課長 木 村 由 美

* 定時総会議事録は7月号へ掲載いたします。



期 日：平成22年 5月16日(日)
場 所：湯の浜 C.C

第5回鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペ

鶴岡市立荘内病院 五十嵐 敬 郎

新緑もまぶしくなりかけてきた5月16日(日)に、第5回目の鶴岡地区医師会親睦ゴルフコンペが湯の浜カントリークラブで開催されました。これまで第1回、3回と出席し今回が3回目の出場です。いつも思うのは調子如何に関わらず、ベストスコアを目指そうということ。コンペ順位はその日のハンディキャップによるので期待はせずにおくと。そんな中、中目医師会長の開会挨拶、小野寺先生のナイスショットの始球式があり、7時56分に一組目でスタート。メンバーは伊藤末志先生、三原一郎先生、横山靖先生の御三方。しばらくぶりに天候に恵まれ、気持ちの良い朝でありました。いつもの通り、ナイスショットとミスショットを繰り返しながらのラウンド。当日プレーしやすかったのが、同伴の先生三人ともプレーのペースが速く、私のテンポに合っていたことでした。そんな事を思いながらアウトスタートの前半を



終えて休憩。食堂の奥の窓側に着席し、早めの昼食をとる事になりました。私はメニューにはないざる中華を無理言って作ってもらいました。ラーメンがあるのだからというそれだけの理由で。そこで窓越しに見た鳥海山と日本海の海岸線が素晴しかった。こちらから見て鳥海山左側に見える「種まき爺さん」がくっきり綺麗に見えました。この休憩の間、幾度となくこの鳥海山の腰を屈めているような「種まき爺さん」を

競技方法：Wペリア 打数制限：PAR×2 HDCP上 男：36.0 女：36.0 HDCP下 男：0.0 女：0.0

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	五十嵐 敬 郎	44	41	85	13.2	71.8
準優勝	三 原 一 郎	48	46	94	21.6	72.4
3 位	菅 井 健	49	52	101	27.6	73.4
4 位	小野寺 俊 直	48	44	92	18.0	74.0
5 位	三 井 盾 夫	44	47	91	14.4	76.6
6 位	伊 藤 末 志	53	53	106	26.4	79.6
7 位	中 村 誠 一	57	52	109	28.8	80.2
8 位	佐 藤 満 雄	59	55	114	33.6	80.4
9 位	福 原 晶 子	59	56	115	31.2	83.8
10 位	横 山 靖	66	54	120	32.4	87.6

眺めているうちに心穏やかになっている自分に気がついていました。

後半12番では少し詰まり気味で、コンペの全員が集合してしまい、ぼかぼか陽気の日向ぼっこの雰囲気でしたが、後半も緊張を途切れさせないプレーを心がけ、表彰式に臨んだところ、予想もしない結果に驚かされました。今日は大吉だったのか？ ハンディキャップがたくさんついて、たくさんの賞品をいただきました。そして優勝カップに名を連ねる名誉もいただいていたの帰路でした。荘内病院からの初優勝も達成されました。いい事づくめの帰り道ではプレー中に病院からの call がなかったことに感謝しながら、今度は東の霊峰月山をこちらはこちらで凛々しいと眺めての運転でした。その頃はもう既に外の風は結構冷たくなっていましたが、車の中ではぬくぬく気分。こんないい日もあるのかなと想い、また明日からの仕事も頑張ろうと気合を入れ直した一日でした。

最後に継続幹事の福原晶子先生をはじめ、事務局の方々に感謝し、このゴルフコンペがますますお互いの親睦、交流の場に広がって行く事に少しでも寄与出来るように考えていきたいと思えます。ありがとうございました。おしまい。



続バンデムシ考

鶴岡市立荘内病院 伊藤末志

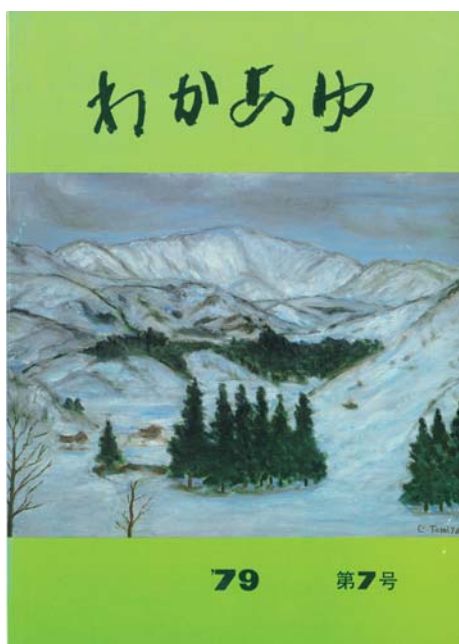
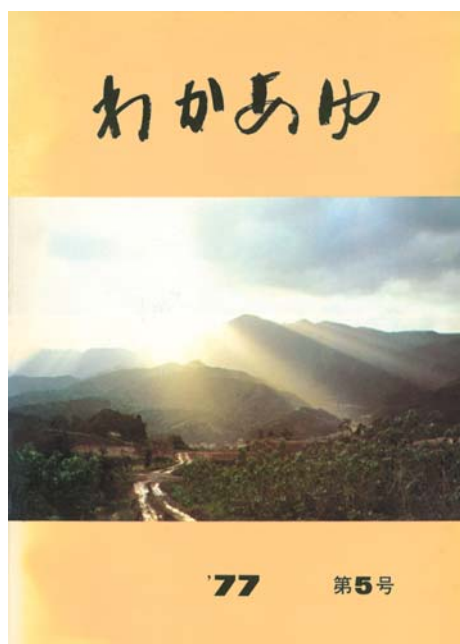
1977年、当時鶴岡地区医師会の会員有志が刊行していた同人誌「わかあゆ」第5号に「我幻の虫を見たりバンデムシ」と題した横山貢先生の随筆が掲載されました。先生は温海の海岸近くで開業されていて、毎年夏になるとこの「幻の虫」に悩まされていました。刺傷部局所の痛みの他に、全身症状（呼吸困難、腹痛、頑固な咳、全身のシビレ感など）を訴えて受診する例が増加しますが、その原因が不明でした。ある夜、「貝拾い」に行った中学2年生女兒が前額部に“この虫”を付けた状態で急患として受診します。水中めがねをつけて、顔を水中に入れた時に、前額部を刺されたといいます。先生はそのときの状況を詳細に感動こめて描写しています。しかし、当時本症の治療法は知られていませんでした。

その2年後の「わかあゆ」第7号に太田秋郎先生が「バンデムシ考」として本症を考察して

います。当院検査科の職員が院長命令で“この虫”を採取に行くことになり、見事に採取に成功しました。これを当時の山形大学農学部生物学の阿部襄教授に鑑定を依頼し、学名「キタカギノテクラゲ」であることが判明しました。しかし、治療法はまったく不明でありました。そうこうしているうちに、以前蜂刺傷にセファランチンが卓効したのを思い出し、本症に使用を試みたところ有効であったとのこと。バンデムシのスケッチとともに、説明・治療法を記したポスターを作製し当院の救急センターに掲示しました。それ以来、毎年海水浴シーズンになるとこのポスターのお出ましとなります。また、太田先生は「セファランチン」の説明と「バンデムシ」なる名称の由来（語源）を解説しています。「バンデムシの語源についてはバンダイムシが訛ったものと思われ、国語辞典でバンダイを引いてみたら「盤台」とあり、その隣に

「飯台」（はんたい、食事をする台、ちゃぶ台）もある」とし、「新婚当時に使っていた折りたたみ式の円い小さなちゃぶ台」が本数こそ少ないがその足までがバンデムシにそっくりなことから「飯台虫」説を唱えています。筆者も本説に賛同する一人であります。

当時までは原因不明であった水中刺咬症をこれ



ら先人たちの詳細な考察により、原因であるクラゲとその刺傷症に対する治療法が解明されてきました。当院救急センターには30年前に太田先生が記載された「バンデムシ」のスケッチと治療マニュアルがそのまま残っており、治療はこのマニュアルに従って行われてきております。

「バンデムシ」はカギノテクラゲであることが判明しましたが、始めはキタカギノテクラゲと呼ばれていました。本症に関する文献検索を行いました。唯一検索されたのが1980年の皮膚病診療に掲載された「クラゲによる皮膚炎」であり、著者は当時琉球大学医学部の学部長であった大鶴正満教授でありました。大鶴教授は筆者が新潟大学医学部の学生だったときの医動物学教室の教授であり、本クラゲは新潟県の海岸の海藻の繁茂する岩場地帯に生息するとして、やはりキタカギノテクラゲと称しています。さらに「本クラゲは主として東北地方、北海道方面の海岸に分布しているホンダワラ科のフシスジモクに付着発生していることが多く、本刺傷は、北日本方面の海藻の繁茂する海岸岩場地帯では盛夏を中心に多少の差はあれ、広く発生しているとみてよい」と述べています。また1998年の「庄内弁が語る海の動物風土記」でもその著者はキタカギノテクラゲとしています。また、著者は山形大学農学部の教授であり、夏に臨海実習に来た学生たちに本クラゲに刺されたときの症状を聴取し報告しています。18歳から21歳の学生5名の訴えは、「体がだるくなった」、「力が入らなくなった」、「息苦しかった」、「鼻水がでた」、「全身が痛く歩けなかった」「涙が出た」などの全身症状でありました。

どの時期からキタカギノテクラゲのキタがとられ、カギノテクラゲになったのかは定かではありません。その後で検索できるのは2003年の水



カギノテクラゲ

産総合研究センター、中央水産研究所のホームページで、ここではカギノテクラゲと呼ばれています。「カギノテクラゲの毒性・分布生態の解明と分類・生活史の再検討」の中で「平成13年5月から6月に荒崎周辺の潜水漁業者の間で、カギノテクラゲに刺されたと考えられる呼吸困難などの全身症状を伴う事故が相次いだ」、「北日本産のキタカギノテクラゲは強い毒性が知られているが、本州南岸のカギノテクラゲの毒性は知られていない。両者はかつて別種とされるなど分類上の混乱がある」とし、この時期あたりからカギノテクラゲに統一されたと推察されます。

その後の調査で、この地域差は時期による海水温の差であることが明らかになりつつあります。本州南岸の一部の調査では、カギノテクラゲは2月に出現し、4月下旬から5月中旬に最も多く、6月に減少し、7月以降消滅したとしています。この時期は、海水浴シーズンからは外れており、海水浴客が刺傷することはなく潜水漁業者などが刺傷しています。一方、新潟県から庄内浜の海水浴シーズンはカギノテクラゲの発生盛期に重なり、海水浴客が事故に会うこととなります。2004年の徳島水研だよりには、4月下旬に採貝漁業者が刺傷され、「刺される

と次第に体がだるくなって思うように泳ぐことができなくなり、船に這い上がることも難しくなる（溺死する危険性もある）」という深刻な報告もみられます。

カギノテクラゲは、それぞれの触手の先端が鍵のように折れ曲がっているのが名称の由来とされています。この触手で浅瀬の海藻に付着して生息しています。また、この触手には大量の刺胞毒を有しています。傘径は2cm未満で、海水温が10～20℃の時期に多く出現し、25℃を越えると活性が衰えるとされています。

過去12年間に当院救急センターを受診したクラゲ刺傷101例の調査分析を行いました。小児が47例、成人が54例であり、6月が7例、7月が55例、8月が39例の受診でありました。うち、60例に全身症状の訴えを認め、21例が入院治療

を受けていました。全身症状の訴えで多いのは全身のシビレ感、咳嗽、全身の痛み、呼吸困難などでありました。7月中旬には受診者の9割が全身症状を訴えましたが、8月中旬になると2割まで割合が下がっています。これはカギノテクラゲからアンドンクラゲへ原因のクラゲが交代したものによると考えられました。治療は7割にセファランチンが投与されていましたし、ステロイド剤の静注も3割に行われていました。

庄内浜の海水浴シーズンには、刺傷部局所の痛みよりも全身症状を訴えてくるクラゲ刺傷症の存在を忘れてはならないと考えております。

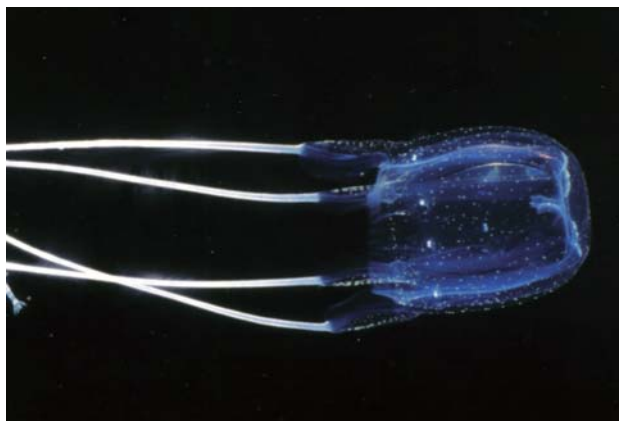
なお、クラゲの写真は鶴岡市立加茂水族館の村上龍男館長、クラゲに関する詳細な情報は奥泉和也副館長に提供いただきました。深謝いたします。



海藻に付着しているカギノテクラゲ



水族館の水槽内のカギノテクラゲ



アンドンクラゲ

大切な本・思い出の曲

No. 10

上野 寿 樹

大切な本・思い出の曲ということですが、大切な本と言われても恥ずかしい話ですが思いつく本がないので思い出の曲の話します。

思い出の曲というと真先に思い出すのは、Kool & The Gangの「Celebration」という曲です。Kool & The Gangはニュージャージー州で1969年にデビューした黒人グループで、ジェームス・ブラウンに代表されるアフリカ系アメリカ人起源のソウル・ミュージックであるファンクを中心とした曲をジャンルとするグループです。同グループは「Ladies Night」や「Too Hot」等の曲によりファンク・バンドとしての不動の黄金時代を迎えることとなりました。「Celebration」は1980年の暮れに発表された同グループの最大のヒット曲で、全米で2週連続1位になっています。この曲は、最近ではサントリーの発泡酒の「Relax」のCMにも使われています。

この曲を知るきっかけになったのは、ベストヒットUSAというテレビ番組です。同番組は1981～1989年に放送された小林克也の司会する人気音楽番組ですが、東京ではテレビ朝日で本年4月より放送が再開された様です。ベストヒットUSAはその名のとおりCOUNT DOWN USAというヒット曲のランキングを中心としたコーナーが番組の主と成っていますが、HOT MENUというその時に話題になっている曲を紹介しているコーナーもあり、「Celebration」は1982年のワールドシリーズのテーマソングにもなった曲なので、その絡みもあり紹介されていました。

気になったので「Celebration」が挿入されている「セレプレート！」というレコードを近所のレンタルレコードで探して借りてきました。レンタルレコード屋は御存知の通り、最近のレンタルビデオ・CD店の原点とも言われる店で

丁度この頃より出て来ていました。当時大学生であった私は学校の帰りに良く立ち寄った記憶があります。

「Celebration」は非常に気に入った曲なので、常に聞いていたい気持ちに駆られてウォークマンを購入。ウォークマンは1979年に初号機が発売されましたが、これぞウォークマンといわれるのは2号機であるWM-2で、私はこれを購入。通学の途中を中心に繰り返して聞いていました。

マイペット&マイホビーにも述べたように、私の音楽鑑賞の仕方はリスニングルーム等で聞くというより、主として運転中にiPodの様な携帯音楽プレーヤーで聞くいわゆる携帯音楽（その言い方が正しいかどうかは疑問ですが）のスタンスですが、Kool & The Gangの「Celebration」はベストヒットUSAという番組、レンタルレコード店、ウォークマンの出現という時代的な要素もあり、私が携帯音楽にはまってしまったきっかけになった思い出の曲です。



Kool & The Gang



WM-2



セレプレート！

新健診センター建設準備室便り

No.17

6月2日に建設委員の先生方と職員、設計業者と建築・電気・機械の各工事施工業者で顔合せ会がグラウンド エル・サンにて開催されました。施工者を代表して鶴岡建設の本間社長より、「工期内完成を目指し、安全に配慮して良いものを造っていきたい」とのご挨拶があり、続いて施主を代表して中目会長よりご挨拶がありました。30数名の出席者が新センター建設に向けて懇親を深めることがきました。6月3日には準備室と設計・施工業者で第5回総合定例会議が開催されました。施工業者より工事の進捗状況について、現在は地足場の組立が完了し、柱・地中梁等の配筋工事が行われている旨の報告を受けました。

準備室では内部会議を定期的に行い、5月からは毎週木曜日に設計業者と施工業者を交えて詳細な打合せを行っています。現在はLED照明の採用範囲、電気・LANコンセントの設置位置やパソコンの台数を含めたネットワークの構成、ドアの鍵の施錠、冷暖房の空調エリア分け等、工程に合わせて決定しなければならない項目について検討を進めています。また、現健康管理センターの改修についても検討を進めており、各事業所からの要望等を聞き取りしながら、設計の最終確認を行っています。建設委員会で協議が必要な項目については、6月24日に開催される第23回建設委員会に諮り、検討をいただいて決定する予定となっております。

新健診センターの建設に係るスケジュールについては、警備会社、ネットワークの配線業者を6月中に決定し、6月9日と6月17日には、胃部とマンモグラフィのレントゲン機器、CT、胸部DRポータブルの機器選定委員会を開催して、7月中には各検査機器が決定する予定です。

イントラネットホームページに新健診センターの建設工事画像を公開いたしますので是非ご覧ください。



杭頭補強コンクリート打設（5月21日）



型枠鉄筋工事（6月10日）

新入会員の紹介



氏 名：^{もろ}諸 ^{はし}橋 ^{みほこ}三保子

生まれた所・育った所：静岡県静岡市

勤務先・診療科名：諸橋整形外科医院・皮膚科

出身学校・在籍教室：日本医科大学 新潟大学 皮膚科

鶴岡地区医師会員の皆さんへ一言：地域の皆様の肌の健康に、微力ながらも貢献できればと思います。宜しくお願い致します。



氏 名：^{かん}神 ^だ田 ^{ひでと}秀人

生まれた所・育った所：米沢市生まれ、18才から山形市です

勤務先・診療科名：山形県立鶴岡病院 精神科・小児精神科

出身学校・在籍教室：山形大学医学部 精神医学教室

趣味・特技：スイミング、スキー、料理

鶴岡地区医師会員の皆さんへ一言：昨年まで、県の発達障害支援センターや中央児童相談所で発達障害を持つ子どもや被虐待児などの診療にあたっておりました。よろしく願いいたします。

表 紙

「 春 菊 」

齋 藤 壽 一

秋に採り忘れた春菊が、春になって“とう”が立って花を咲かせた。名前の如く春に咲く菊である。当初は花全体が黄色を呈すが、次第に花弁は白色を帯びる。食用とする葉はご存知の方も多いと思うが、花も一興である。

編 集 後 記

歴史的政権交代から発足した鳩山内閣が、わずか8ヶ月半という短い期間で、菅内閣へと移行しました。閣僚の顔ぶれを見ても、かつての自民政権時代の組閣とは異なり、また鳩山内閣からの留任が半数以上を占めるとはいえ、かなり若返り、かつ、新鮮な人材が入閣したことで、実働部隊の様相を呈しているように思えます。夏の参院選までの短期内閣と言われてはいますが、それでも、今までの政権与党内閣とは、全く違った印象があり、支持率がV字アップしたのもうなずけるような気がします。

さて、鶴岡地区医師会も、いくつかの新しい事業に向かって動き出しています。一つは、来春完成する新健診センターです。現在、建設工事は順調に進んでおり、その様子は、毎号掲載されている準備室便りで御覧になれます。また、建設委員会を中心に、内装や導入機器の選定なども次々と予定されており、新センターでの仕事に意欲を燃やす職員たちが、一生懸命に頑張ってくれています。受診者の皆様に、快適な健診を提供するだけでなく、仕事をしていくモチベーションが高くなるような、そんな施設になっていくことが望まれます。

もう一つは、休日夜間診療所の、平日夜間診療体制についてです。先日の総会の席でも、活発な討議がなされ、さらに、第2回の意見交換会も予定されています。荘内病院救急外来の負担軽減のためには必要なことと思われ、また、行政からの協力依頼も来ているとのこと。コンビニ受診を促すのではないかという危惧もあり、確かに、現在の受診状態を考えるとそうなることは間違いないと思います。しかしながら、電話相談制度を活用したり、救急外来受診者の特別徴収なども想定しながら、軽症者の受診抑制・誘導がスムーズに行なえるよう、会員の皆様のご助力が必要になります。是非、意見交換会や総会にご出席いただき、ご意見を頂戴したいと思います。

(福原 晶子)

編集委員：中村秀幸・伊藤末志・福原晶子・斎藤憲康・阿部周市・高橋由至

発行所：社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail tsurumed@jupiter.ocn.ne.jp

URL <http://www15.ocn.ne.jp/~tsurumed/>